

協力隊 加藤、松本 山歩きや滝巡りをしてきました！

菅平の滝



滝巡りガイドの方の案内で、奥多摩周遊道路から登山道に降りました。道中、キャンプ場跡のトイレや、石垣など生活の跡が見られました。10分ほど歩くと看板があり、丸太の階段を降りていくと菅平の滝が見えてきました。全景を見るために対岸へ渡ると2段の低い滝が見えました。一見滝か？と疑いたくなりましたが、滑滝という岩に沿って落ちる滝の一種であると言います。初めて見る形の滝に新鮮さを覚えました。(加藤)

三頭大滝

11月1日、数馬地区の滝巡りガイドの1カ所目として向かいました。都民の森の中にある、セラピーロードのウッドチップを踏みしめ、滝見橋を渡ると35mの高さの迫力満点の滝が！その高さに圧倒されました。(松本)



天正の道を歩く

10月26日、歴史探求イベントに参加し、上元郷・本宿の上日向から立山の登山道などを歩きました。立山では戦国期に見張りの狼煙を上げていたそうです。他にも、炭焼きで使った馬を供養する馬頭観音などの説明をしていただき、歴史や文化に触れることができました。(松本)



三頭山



11月3日、観光協会の職員の方と、ごみ拾いをしながら登りました。紅葉は木によってまちまちで、きれいに色付いている木はそれほど多くなかったです。夏の暑さの影響が強かったようです…。運良く西峯の山頂から富士山が見えました！(松本)



雨乞の滝

11月18日、観光協会主催のエコツアーに同行し見てきました。小林家住宅へ向かうモノレールの駐車場付近から下に降りて10分弱歩くと現れる滝です。この地区に、神仏に雨が降るよう祈願する行事があったため、この名がついたそうです。ガイドの方の案内で、マップに載っていない滝(右の写真)も見ることができ、エコツアーの意義を感じることができました。(松本)



夢の滝

菅平の滝から歩いて20分ほど、間伐したばかりの林道を通って都道に降りてきました。以前、周遊道路がまだ有料だったときのゲートの辺りに出ました。近くの橋から滝を見ると、なんと！これも滑滝！先ほどより落差があり“滝感”が強かったです！下の岩の陰にはヤマメを見ることができました。(加藤)



龍神の滝

力強い一筋の滝を目近でみる事が出来る滝です。都道から階段を降りた先には落差の大きい滝が！その落差なんと18メートルにもなるそうです！これは一戸建ての住宅を縦に2件重ねた高さです！高い！近くに行くと滝から吹く冷風でマイナスイオンを感じることができます。滝壺もきれいでシンプルで力強いです。(加藤)



九頭龍の滝

10メートル程の滝が数段に及ぶ滝です。数馬のバス停からほど近い階段と橋を降りてみる事が出来ます。脇道から上段近くまで上がることが出来る道がありますが、その橋と道の老朽化で行く際には注意が必要です。九頭龍神社の参拝者がこの滝で滝行をして身を清めたことから、九頭龍の滝と呼ばれる様になったそうです。(加藤)



／ 空き家の相談受付中 ／

空き家ありませんか？

檜原村役場むらづくり推進係まで！

☎042-519-9556

畑わさび生産の視察研修にいつてきました！



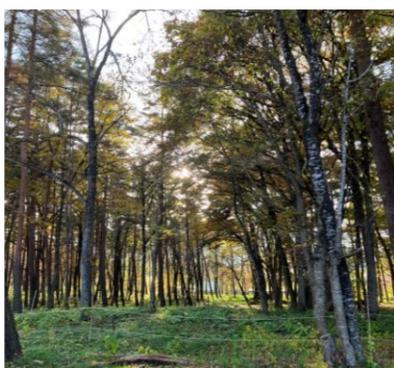
畑わさび栽培現況報告
柏木野で元気に育っているわさび。

岩手県遠野市

畑わさびの栽培を一度経験したこのタイミングで、畑わさびの生産者のもとで視察研修をおこなって来ました。

今回視察を受け入れて下さったのは、岩手県遠野市です。

民話の里、カッパ伝説でおなじみの遠野市では、畑わさび研究会を立ち上げ栽培に取り組んでいました。今回は2か所の研究会の圃場を視察させていただきました。



一つ目の圃場は落葉広葉樹林にあり、総面積70アール（7反）あります。栽培面積は毎年20アールで、苗を購入し植付けています。栽培期間は20か月と長いですが、夏の暑い時期にはわさびの成長が停滞し、春は乾燥がひどく苗が育ちづらいため、成長に影響の出にくい秋に苗を植え付け、二年後の、夏を迎える前に出荷しています。



対処方や予防策を教えてくださいました。

いた花から種が落ちてくるので、収穫後に耕運しておくことで、春にわさびの芽が出てくるため、苗の自給が可能になり、生産コストを抑えられることでした。また、種取り用の畑で採取した種からも育苗をするとのことでした。



二つ目の圃場は、落葉針葉樹林にあり、100アールの圃場で毎年20アールに植え付けられています。こちらも20か月で出荷しており、圃場内には作業道を除き、20アールの畑が4枚あります。秋に植えた苗の畑、一年経過した畑、種取り用の畑、今年出荷した畑です。

この圃場は、栽培開始から10年が経った今も、私が懸念していた連作障害は出ておらず、同じ圃場内でも四つの畑をローテーションで使うことで継続的な栽培が可能になりました。

畑わさび栽培は、一般的な野菜の生産よりも栽培期間が長く、虫や鹿、飛来物、病気など、様々な課題はあるものの、市場価値は安定しているため、買い取り先と安定した苗の供給が可能になれば、檜原村でも生産が可能だと一年間栽培をしてみてもわかりました。何よりも、栽培過程の労力が少ないため、成果品も花わさびと茎わさび、根わさびと、生産サイクルの確立ができれば安定的に収益をあげることもできると考えています。参考までに遠野市の研究会では、出荷までに栽培にかかった実働日数は、一日8時間労働に換算して30日。経費は一割。20アールで6トン生産し、270万円の売り上げになつたそうです。（友澤）

生活支援事業をはじめて8ヶ月！

4月号でもお知らせしましたが、移住してきた後藤と生活支援事業を開始して、8ヶ月が過ぎました。多くの方にご利用いただき、ありがたい限りです。主に後藤が皆さんと一緒することが多いですが、彼も一生懸命やっております。村での生活も慣れてきたようです。



合いで買い物にも出かけてきました。行き先はイオンモール日の出店と角上魚類日野店の2回行い、それぞれ皆さんにご満足いただけただけで、後藤も私も嬉しく思います。事業はまだまだ手探りで進めていることから、ご意見やご提案、ちょっとした困りごとでも、相談させていただきながら進めていきたいと思っております。ぜひお声がけください！（中澤）

空き家相談窓口やっています！

村の広報でもお知らせしている「空き家相談窓口」ですが、私もお手伝いさせていただきます。登記に関するご相談から、それに関連する相続のご相談を多くいただいております。名前が空き家相談窓口ですが、現在のご自宅のことでも受け付けております。内容によっては、お時間がかかることもありますので、どのような進めたいのかを事前に相談しながら進めてまいります。こんな状況だと難しいのではないかと、何かから始めれば良いかわからないなど、些細なことでも構いませんので、



まずはご相談いただければと思います。そもそも何を相談したら良いかわからない、なかなか相談窓口まで足を運べない方がいらつしやいましたら、お声がけいただけますので、お気軽にお声がけください！（中澤）

編集後記



ここ最近、急激に寒くなってきた、布団からなかなか出られなくなってきました。掘りこたつの掃除や、家用車のタイヤの履き替えなど、冬に向けた準備をしながら書いています。住民の方々の知恵をお借りしながら、檜原村での初めての冬を乗り切りたいから、と考えています。（松本）

地域おこし協力隊へのご依頼は
檜原村役場 むらづくり推進係へ
☎042-519-9556

協力隊 Facebook は
QRコードから！



地域おこし協力隊 メンバー

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| ともさわ
友澤 | ゆうき
勇紀 | なかざわ
中澤 | だいき
大樹 |
| かとう
加藤 | りんけい
綸啓 | まつもと
松本 | よしふみ
圭史 |

村内で見かけたら、お声がけください！